

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和6年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(長野建設事務所)
指定管理者	(公社)長野シルバー人材センター

1 施設名等

施設名	長野県若里公園	住所 電話 ホームページ	長野市若里1丁目1-50 026-226-6950
-----	---------	--------------------	------------------------------

2 施設の概要

設置年月	昭和58年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーション及び文化活動の場を提供するため。		
施設内容	メインアプローチ、中央広場、読書広場、園芸広場、沈床広場、芝生広場、趣味の広場、駐車場、集合広場、ワンパク広場(遊具有)、大芝生広場、芝生小広場、自転車置場、思索の森、管理棟(公衆トイレ併設)、公衆トイレ(3棟)、四阿、シェルター、倉庫、県立長野図書館(県教育委員会所管) 開園面積:5.8ha		
利用料金	-		
開所日	無休開放		
開所時間	常時開放		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
開園～平成17年度	管理委託	長野市
平成18年度～20年度	指定管理	社団法人 長野シルバー人材センター
平成21年度～23年度	指定管理	社団法人 長野シルバー人材センター(23年度～公益社団法人)
平成24年度～28年度	指定管理	公益社団法人 長野シルバー人材センター
平成29年度～令和3年度	指定管理	公益社団法人 長野シルバー人材センター
令和4年度～8年度	指定管理	公益社団法人 長野シルバー人材センター

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	(公社)長野シルバー人材センター	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和6年度(A)	令和5年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
12,948千円	12,692千円	256千円	
	増減理由	光熱費等高騰対策による指定管理料の増加	

6 指定管理者が行う業務

都市公園(備品等を含む)の維持管理及び利活用に関する業務並びにこれらに付帯する業務

7 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 年度(A)													0
令和 年度(B)													0
(A)/(B)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
増減要因等													

(2)利用料金収入(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 年度(A)													0
令和 年度(B)													0
(A)/(B)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
増減要因等													

(3)利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(様式2)

(4)開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和 年度(A): 日	令和 年度(A):	有 ・ 無	
令和 年度(B): 日	令和 年度(B):		

(5)サービス向上のため実施した内容

・「若里公園ボランティア」を開催し、シルバー人材センター登録会員約2,000人に対しボランティアを募り、年8回に亘り若里公園の草取りや環境美化に努めた。 ・植木班による大規模な剪定作業を実施(年2回)し、植栽の枯れ枝撤去・日当たり・風通り・見通しなどへの配慮と環境美化に努めた。 ・乗用芝刈り機2台により、1ヶ月2回平均で芝刈り作業を実施。定期的にある程度の長さが確保できるため、常に芝生が綺麗な状態で維持できた。 ・4月～11月の期間、毎朝6時半からのNHKラジオ体操を管理事務所から流し、公園利用促進とともに公園利用者の健康増進を図った。 ・専門業者による遊具の安全点検を年3回実施。指摘事項については速やかに修繕を行い利用者の安全確保に努めた。 ・専門業者による砂場の消毒の実施。利用者の健康安全に配慮した。 ・「早朝そらヨガ」と称したヨガ教室を開催し(インストラクター:スタジオユークー)公園利用促進とともに公園利用者の健康増進を図った。 ・公園内の灯りについて点灯時間を見直し、公園の安全管理に努めた。 ・芝生の駐車場利用開始に伴い、利用者に混乱がないよう閉鎖時間などこまめに表示した。 また、安全面に配慮した駐車場利用の周知を行った。 ・中学生の職場体験の受け入れをし、教育現場や生徒さんたちとの交流を図った。

(6)その他実施した取組内容

・植栽帯の長年の植物の生育に伴い、根が植栽帯を囲むブロックを押し出したり破損を引き起こした事例があり、利用者の安全を守るために迅速に修繕を進めた。 ・若里公園の「袋詰め落ち葉」の無料配布。

(7)利用者の主な声及びその対応状況

・定期的に公園の芝を短く刈ってもらっているの、犬を散歩させても草が足にからまず、快適に散歩ができる。 ・芝がきれいに手入れされており気持ちがいい。
--

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指 定 管 理 者	所 管 課	評価
施設の目的に沿った管理運営	・協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理計画に従って、管理運営を実施した。	・協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、適切に管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	・365日24時間無料開放している。 ・公園利用においては迷惑行為がないよう看板での周知や防犯カメラ(ダミー)の設置などで気持ちよく公園利用ができるよう努めている。	・迷惑行為防止のための注意喚起看板の設置、巡回時の迷惑行為者への対応、防犯設備の設置等、公園利用者の安全かつ平等な利用の確保に対する取組が適切に行われていたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	・組織力を生かし、各分野で知識の多いシルバー会員の就業を行うことで、地域と密接に関われるきめ細かな対応を確立できる。 ・不審な行動をしづらい雰囲気作りと、地域に根ざした取組を工夫し実施していく。 ・中学生の職場体験の受け入れをし、教育現場や生徒さんたちとの交流を図った。	・公園利用者の快適な利用のため、保守点検及び清掃等をきめ細やかに実施し、サービス向上に取り組んでいたと認められる。 ・積極的な植栽管理の実施や、子供の利用頻度が高い遊具の重点的な安全点検の実施を通じ、事故防止等の安全管理に努めていたと認められる。 ・地域に根差す公園づくりの取組として、公園利用者から寄せられた意見を、適切な公園管理及びサービスのさらなる向上のために反映させていると認められる。	A
自主事業	・ラジオ体操やヨガ教室(早朝そらヨガ)の開催など積極的な声掛けを行った。 ・若里公園の落ち葉の無料配布を実施。公園利用者に秋を感じていただく取組をした。	・本公園独自の多様な事業を展開しており、老若男女問わず多くの県民が親しみをもって利用できるよう公園環境の整備に努めている。	B
職員・管理体制	・仕様書及び事業計画に基づき就業会員の配置を行った。	・仕様書及び事業計画書に基づき、適切な職員配置がなされていたと認められる。	B
収支状況	・指定管理料 12,948千円、自主事業費 22千円の収入。 支出は 14,691千円。収支差額は 1,721千円の赤字収支となった。	・限られた指定管理料収入に対し、適切な維持管理が図られていたと認められる。	C
総合評価	・若里公園でのボランティアはシルバー会員のやりがいにもつながっており、毎回多くのシルバー会員が積極的に参加し、除草や落ち葉掃きなどを通じ若里公園を大切にきれいに維持したいという意識に繋がっている。 ・就業状況はきわめて丁寧で公園管理に必要な改善に向けて積極的な姿勢で取り組んだ。	・指定管理者の特性を活かした事業及び活動を実施しており、丁寧かつ積極的な取組を通じて公園利用者の快適な利用に資する等、全体として適切な管理運営が行われていたと認められる。	B

＜評価区分＞ A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運営の課題	・公園に老朽が目立ち、修繕に費用が掛かる。また、高さのある太い木が多く手の届く範囲の剪定は可能でも、大きな樹木の対応はできない状況がある。 ・芝生広場(スリバチ山)東側の水はけが悪く、池のような状態になるが、大がかりな工事が必要。指定管理料の範疇では対応困難である。	・指定管理者にあつては、限られた予算の中で緊急度等を考慮しながら引き続き対応していただくとともに、県にあつては指定管理者と連携を取りながら、大規模な修繕、剪定、伐採等について対応を検討し、緊急度の高いものから迅速に対応する。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和 6年 11月 7日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
【施設の目的に沿った管理運営】 ○施設目的を果たす当公園の植栽の管理に重点を置き、これに向けた人員確保に力を入れ運営されており、現場の植栽の剪定状況や設置施設の状況も良好である。	・公園内の高木については、枯れ枝も散見されており、落枝などの心配もあるが、指定管理者では対応しきれないため、所管課と相談しながら進める。	・公園内の樹木の整枝・剪定について、高木については指定管理者による対応が難しい部分があるため、指定管理者と相談しながら対応していきたい。
【平等な利用の確保】 ○女性利用者がいるため、トイレ掃除など女性スタッフが対応できるような体制を意図しており、性別や年齢にかかわらず平等に利用しやすい環境を整えている。 ○迷惑行為に関する看板の設置などの防犯上の配慮もなされており、公園利用者の立場にたった工夫がされていることから、平等な利用の確保に努めていると評価できる。 ○利用者が快適に過ごせるように、環境整備が非常に行き届いている。マナーの悪い方には、巡回をされ他の利用者の迷惑にならないようにしているとのこと、これからも願いたい。管理者がいない時間帯が一番危険だと思うので、防犯カメラの設置を是非ともご検討頂きたい。 ○トラブルが発生しても適切に対応し、利用者の安全と平等な利用を確保するなど有事に対しての体制がとられている。	・女性会員を配置できない場合もあるが、女性利用者が安心して利用できる対応に努めている。 ・迷惑行為に対しては、所管課や警察とも連携し、対策強化することで防止につながればよいと考えている。対策としては、看板の設置、防犯カメラの設置など。	・防犯カメラの設置については、防犯上の必要性や昨今の情勢を鑑みて、検討を行いたい。
【利用者サービス向上の取組】 ○施設の保守点検や清掃、遊具の安全点検を管理計画書に基づき、きめ細やかに実施し、快適に利用できる状況を保ち、安全の確保とサービス向上に取り組んでいる。 ○サービス向上を意図すれば、どうしても費用や時間がかかってしまい、取り組みたい思いはあっても現実に実行、対応することは簡単ではない。しかし、費用削減によって新たな取組や継続してきた取組が費用面などの要因によってさらに難しくなっているものの、実施できるように資源の再配分を自主的に検討している状況にあり、サービス向上の取組は適切に行われている。 ○組織力を生かした会員ボランティアによる草取りや、植木班による剪定作業等による環境美化に努めており、公園として良好な環境が提供されている。また、自主事業として落葉を肥料として配布するなど、地域住民へのサービス向上に努めている。 ○公園南側入口を入って右側に設置されている案内看板の高さが、園児の顔の高さと同じで危険であるため、高さを変える、クッションをつける、位置を変える等の配慮をお願いしたい。 ○自主アンケートを行い、犬の散歩に対する意見を現場に反映させるなど、サービス向上に向けた取組を行っている。 周辺施設の公園利用者(幼稚園など)へのサービス提供に努めた結果、感謝状が贈られるなど、地域との良好な関係を保ちながら、サービス向上に取り組んでいる。	・施設の保守点検清掃、遊具の点検を毎日実施していることで、事故もなく快適で安全な利用環境を確保している。 ・大芝生広場、中央広場のケヤキの木の高所に枯れ枝を確認している。比較的低位位置の枯れ枝は若里公園スタッフで撤去しているが、今後も注視していく。	・駐車場入口の看板については、設置位置を変更することで対応したい。

【自主事業】 ○ヨガ教室は、若い女性を中心に人気のあるアクティビティであり、公園利用への意識が高まる良い機会になっていると感じたため、回数を増やしてはどうか。 ○ラジオ体操やヨガ教室などを開催し、公園利用者の健康増進を図っており、自主事業に工夫が認められる。 ○犬のしつけ教室は、環境維持にも重要であり、とても良い取組をされていると感じた。若里公園では、一度も犬の糞を見たことがなく、清掃管理が行き届いていることに併せて、犬のしつけ、飼い主の意識にも働きかけがあるからこそと感じた。 ○公園の特色を生かした各種自主事業を適時実施しており、公園の活性化に寄与している。実際に利用者からも好評を得ている。 県内の小学校・保育園・幼稚園への利用案内や地域住民等の幅広い年齢層を対象としたイベントなど多様な自主事業を積極的に行い、公園利用の促進につなげている。	・ラジオ体操・そらヨガ教室については、多くの地域住民の方に参加していただいている。季節行事の一つとして捉えている方もおり、若里公園での開催が浸透していると考え。回数を増やすことは、可能な範囲で検討したい。 ・ラジオ体操は、会員の意見により時期を工夫し、年内は11/15までとし、年度末の3/16から再開とした。 ・犬のしつけ方教室を開催されているせいか、犬の糞は少ない。犬を連れて入れる公園の意識向上に役立っていると考え。 ・イベントについては、R7のGWに開催予定である、県立図書館、ホクト文化ホールとの子供向けイベントに参加するため、打合せ会議に参加した。	・犬のしつけ方教室は、NPO法人が、公園行為許可申請を行い独自に行っているが、若里公園の一つの特色として、犬の散歩が可能である点から、NPO法人との協力についても検討していきたい。 ・イベント開催については利用者が多く検索するインターネットなどの媒体を使って県でも広報を行い、公園利用につなげたい。
【職員・管理体制】 ○協定書、事業計画書等に基づき、職員配置、施設点検及び清掃等を実施しており、適切な職員・管理体制となっていると評価できる。 ○実働人数、実働時間に比して、十分なサービスを提供している。 ○よりよい公園の利用に向けた積極的な意思を共有しながら管理していると認められる。 ○管理事務所が留守の際、連絡方法(携帯番号など)があるとありがたい。ベルを押したら、管理者につながるなどのシステムがあると良いと思う。	・協定書、事業計画書に基づき、適切な職員・管理体制に努めたい。 ・管理事務所が留守の際は、園内の作業員へつながる電話番号を入口に掲示している。	
【収支状況】 ○適切な維持管理を行いつつ、黒字収支となったことは評価できる。 ○黒字部分については、適切な投資、人員への配分などサービス向上に寄与するものへ活用すれば、より一層よいのではないか。 ○適切なサービスには適切な支出が伴うもので、ボランティアに依存しすぎず、価値の公正な分配が行われるよう期待する。 ○通信費などについて節約されているが、周知方法としてメールの活用を検討してはどうか。	・令和6年度は、光熱費・修繕費・人件費が多くかかり、赤字となってしまった。光熱費及び人件費は見直しが厳しい部分であるが、経年により修繕が必要な箇所も出てきている。	・大規模修繕については、指定管理者と連携を図りながら、指定管理者の大きな負担とならないよう対応したい。
【総合評価】 ○計画に基づき適切な管理が行われている。時代に即した運用ができるよう期待する。女性利用者が夕方以降の通行などに不安を感じるとの声もあったので、抑止策としてや、指定管理者が安心して管理業務を遂行できるよう防犯カメラの設置は検討課題ではないかと思う。 ○実際の利用者を想定し、より良い公園づくりの具体的な施策がとられている。全体的によく整備されており、様々な住民に利用されている。付近の設備も含めて地域の重要な拠点となっている。 ○指定管理者の組織体制や人材力を生かし、若里公園の特性を把握したうえで、健全かつ魅力ある公園に向けた管理を、県民や地域住民との良好な関係を保ちながら行われており、全体として適切な管理運営であると認められる。	・引き続き適正な管理運営を行っていくとともに、安心・安全な利用環境を継続していく。 ・昨今、世の中で色々な事件が起きているので、トラブル回避のためにも、公園内数か所に防犯カメラの設置を希望する。 ・魅力ある公園を目指して、地域住民と良好な関係を保ちながら運営管理を進めたい。	・現在、管理棟横1号トイレ入口には、監視カメラを設置しているが、防犯上の必要性や昨今の情勢等を鑑みて、カメラの増設等防犯対策も検討していきたい。